

[調査実施の概要]

1. 調査目的

本調査は、全国の大学・短期大学・高等専門学校(以下「大学等」という)を調査対象として、全国の大学等におけるボランティア活動の推進と環境に関する状況を調査し、その調査結果を広く公表することにより、各大学等が学生のボランティア活動の推進方策の企画・改善における参考資料として活用し、もって、学生のボランティア活動の推進に資することを目的としている。

また、本調査では、平成16年度に当機構で実施した「大学等におけるボランティア情報の収集・提供の体制等に関する調査」についての経年比較の要素も含めることにより、全国の大学等における学生のボランティア活動に対する支援内容や課題等の変化も同時に把握する。

2. 調査対象

全国の大学、短期大学、高等専門学校 1,212 校

3. 調査方法

郵送による悉皆調査とし、当機構ホームページ上に設けた回答用フォームにより回答とした。ただし、調査票で該当する授業科目がある場合のみ、別途、「回答票(別紙)」について電子メールによる回答とした。

4. 調査時期

平成 20 年 9 月～10 月

5. 回答校数

回答校数:903 校(回収率:74.5%)

6. 調査組織

調査の実施にあたり、平成 20 年 7 月から平成 21 年 3 月の間、有識者による協力者会議を設置し、調査内容・調査結果集計方法・調査結果報告書作成等について、ご指導・ご助言、ご協力をいただいた。

協力者会議の委員については、以下のとおり。

《協力者会議委員（所属・役職は平成 21 年 3 月現在）》

- 興梠 寛 昭和女子大学人間社会学部特任教授
 ・コミュニティサービスラーニングセンター長
 日本ボランティア学習協会代表理事
- 栗田 充治 亜細亜大学国際関係学部 教授
- 齊藤 ゆか 聖徳大学人文学部生涯教育文化学科 講師
- 小抜 隆 東北福祉大学ボランティアセンター コーディネーター